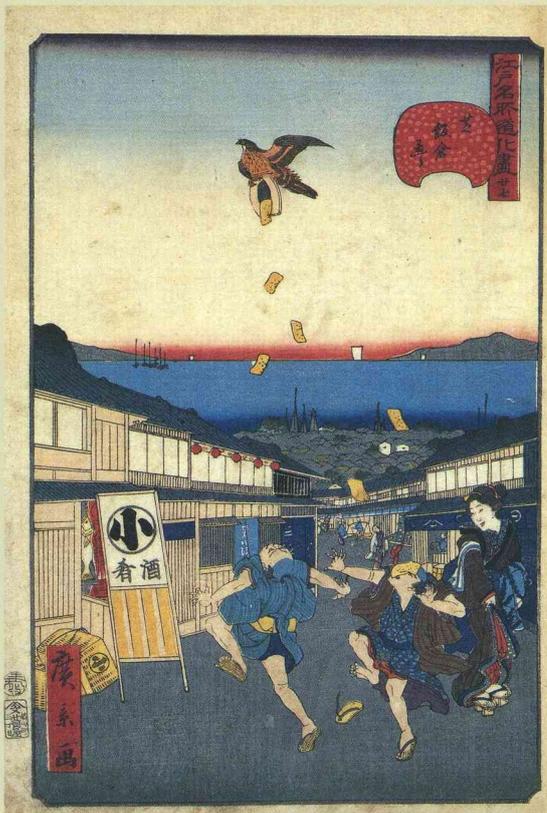


2007



国立歴史民俗博物館 研究報告

古代城柵の研究(四) 阿部義平
辺要宮城を巡って

現代のメモリアルとミュージアムの場における過去想起に伴う感情操作の特徴 寺田匡宏
ポーランド・ベウジェッツ・メモリアルとベルリン・ホロコースト・メモリアルの
空間構成と展示による過去表現に関する比較研究

八戸藩江戸勤番武士の日常生活と行動 岩淵令治

【資料紹介】

伊能家資料中の楫取魚彦編著『千歌』の翻刻と紹介 片山 武

荒川重平回想録抜粋 樋口雄彦
旧幕臣としての交友関係を中心に

第138集
平成19年3月

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

**国立歴史民俗博物館
研究報告
第138集**

目次

| | | |
|--|------|-----|
| 古代城柵の研究(四) 辺要宮城を巡って | 阿部義平 | 1 |
| 現代のメモリアルとミュージアムの場における過去想起に伴う感情操作の特徴 ポーランド・ベウジェッツ・メモリアルとベルリン・ホロコースト・メモリアルの空間構成と展示による過去表現に関する比較研究 | 寺田匡宏 | 37 |
| 八戸藩江戸勤番武士の日常生活と行動 | 岩淵令治 | 67 |
| [資料紹介] | | |
| 伊能家資料中の楫取魚彦編著『千歌』の翻刻と紹介 | 片山 武 | 125 |
| 荒川重平回想録抜粋 旧幕臣としての交友関係を中心に | 樋口雄彦 | 175 |

Contents:

| | | |
|--------------------|--|-----|
| ABE Gihei | Research on Ancient Castle Ramparts (Part Four) : Issues of Castle Ramparts | 1 |
| TERADA Masahiro | On Emotion and Remembering the Past in Museums and Memorials: A Museum Anthropological Analysis on the Belzec Memorial in Poland and the Holocaust Memorial in Germany | 37 |
| IWABUCHI Reiji | Hachinohe Samurai on Duty in Edo : Work, Play, and Daily Ritual | 67 |
| Research Materials | | |
| KATAYAMA Takeshi | Reprints and Study of Katori Nahiko's "Chiuta" in the Inou Collection | 125 |
| HIGUCHI Takehiko | Excerpts from the Memoirs of Arakawa Shigehira: A Focus on His Companions and Acquaintances As A Vassal of the Former Shogunate | 175 |

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項

- 1 国立歴史民俗博物館研究報告（以下「研究報告」という）は、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸科学に関する論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 2 研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - 一 国立歴史民俗博物館（以下「博物館」という。）の教職員（客員教員を含む。）
 - 二 運営会議委員
 - 三 名誉教授
 - 四 博物館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - 五 特別共同利用研究員のうち受入れ期間中の研究成果の発表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 六 博物館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 七 その他博物館において適当と認められた者
- 3 原稿を寄稿する場合は、論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、博物館の研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という）において行う。
- 4 原稿執筆における使用言語は、日本語を原則とする。ただし、他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
- 5 特殊な文字、記号、印刷方法が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
- 6 寄稿する論文には、原則として和文要旨を付けるものとする。また、英文により400語程度の要旨を付けるか、あるいは英訳用の和文800字以内の要旨を付けるものとする。なお、論文以外については、希望により編集委員会の判断のうえ、英文要旨を載せることができる。
- 7 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しないが、写真・図版等は論文表現のうへで必要最小限にとどめる。また、編集委員会の判断により、全体の分量等の関係から圧縮や分割掲載を指示する場合がある。
- 8 寄稿する原稿は、必ず清書し、原稿の写し1部を添付するものとする。
- 9 寄稿された原稿は、編集委員会において査読者を決め審査のうえ、採否を決定する。
- 10 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 11 原稿の寄稿先および連絡先は、次のとおりとする。

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地
国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会（代表電話 043-486-0123）

【国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会】

館外委員（五十音順）

坂本 満 国立歴史民俗博物館名誉教授
佐々木恵介 聖心女子大学文学部
設楽博己 駒澤大学文学部
谷口 貢 二松學舎大學文学部

館内委員

青木隆浩 民俗研究系
鈴木卓治 情報資料研究系
高橋一樹 歴史研究系（編集委員長）
村木二郎 考古研究系
安室 知 民俗研究系（研究委員長）

国立歴史民俗博物館研究報告 第138集



平成19年（2007）3月30日 第1版第1刷発行

（非売品）

発行所



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123（代）

印刷・製本所

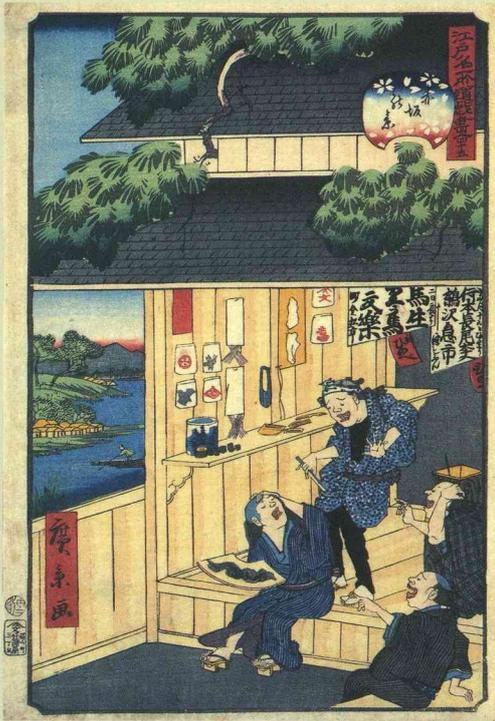


祥文社印刷株式会社

〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4-15-17 ☎092-411-1611（代）

〔装丁〕 中山銀士・佐藤陸美

Bulletin of the National Museum of Japanese History



Research on Ancient Castle Ramparts (Part Four) :
Issues of Castle Ramparts
ABE Gihei

On Emotion and Remembering the Past in Museums and Memorials :
A Museum Anthropological Analysis on the Belzec Memorial
in Poland and the Holocaust Memorial in Germany
TERADA Masahiro

Hachinohe Samurai on Duty in Edo : Work, Play, and Daily Ritual
IWABUCHI Reiji

Research Materials

Reprints and Study of Katori Nahiko's "Chiuta" in the Inou Collection
KATAYAMA Takeshi

Excerpts from the Memoirs of Arakawa Shigehira :
A Focus on His Companions and Acquaintances As A Vassal of the Former Shogunate
HIGUCHI Takehiko